



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 サイボー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3123 URL <https://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 榮一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部財務部長 (氏名) 白田 浩二 TEL 048-267-5151

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,177	15.9	511	163.0	530	148.0	288	195.8
2022年3月期第2四半期	4,465	34.9	194	△33.9	213	△40.5	97	△58.4

(注)包括利益 2023年3月期第2四半期 232百万円 (46.9%) 2022年3月期第2四半期 158百万円 (△67.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	21.83	—
2022年3月期第2四半期	7.38	7.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	41,569	17,623	37.1
2022年3月期	42,895	17,484	35.7

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 15,431百万円 2022年3月期 15,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2023年3月期	—	7.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,278	3.6	965	49.5	921	24.3	532	6.5	40.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	13,600,000 株	2022年3月期	13,600,000 株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	384,042 株	2022年3月期	388,042 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	13,213,106 株	2022年3月期2Q	13,211,978 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書 第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(会計方針の変更等)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、行動制限が緩和されるなど、経済活動の正常化へ向けた動きが進みました。一方で、エネルギー価格や原材料コストの上昇、中国ロックダウンによる供給制約、急激な円安の進行等もあり、景気動向は不透明な状況で推移しております。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では、海外からの製品等仕入れにおいて、円安、原材料高、中国ロックダウンの影響を受けた一方、キャンプ関連商品の需要拡大が継続するなど、取扱品により差が出た事業活動となりました。

不動産活用事業は、大型商業施設「イオンモール川口」を前期にイオンモール㈱に賃貸開始したことから、当期においては通期にわたって業績への寄与が見込まれます。また、既存の賃貸物件である「イオンモール川口前川」や病院施設等からの安定した賃貸収入を維持しており、営業収益の安定化が図られております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,177百万円（前年同期比15.9%増）となりました。営業利益は511百万円（前年同期比163.0%増）となり、経常利益は530百万円（前年同期比148.0%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は288百万円（前年同期比195.8%増）となりました。

事業別セグメントの概況は次のとおりであります。なお、事業別セグメントの売上高及び営業利益又は損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

① 繊維事業

マテリアル部は、衣料向け生地販売事業を縮小したものの、原糸販売は仕入れコスト上昇により販売価格を引き上げ増収となりました。一方、コストアップ分全てを価格転嫁できず、減益となりました。

アパレル部は、取引先である百貨店からのユニフォーム商品の新規受注が減少し、また円安等による影響からコスト増となり、減収減益となりました。

アウトドア部は、コロナ禍において初めて行動制限がない夏休みとなるなど、キャンプ関連の需要が高まり、取引先の取扱い商品の売場面積が拡大したこと等により、増収増益となりました。

刺繍レースを扱うフロリア㈱は、秋冬物アイテムの販売が伸びず減収減益となりました。

この結果、繊維事業の売上高は2,704百万円（前年同期比18.9%増）となり、営業利益は40百万円（前年同期比60.0%減）となりました。

② 不動産活用事業

不動産活用事業は、「イオンモール川口前川」が近隣の大型商業施設に比べ回遊型ショッピングができるという、お客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価されております。また「イオンモール川口」は、新しい社会環境に合わせた最新型の商業施設として2021年5月よりイオンモール㈱に賃貸を開始し、当期初より売上に寄与したことから、増収に繋がりました。

収益面では、「イオンモール川口前川」は前年からのリニューアル工事が計画通りに完了し費用を計上しておりますが、「イオンモール川口」における不動産取得税等一時的な費用が前期に比べ大幅に減少したことから、増益となりました。

この結果、不動産活用事業の売上高は1,854百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益は385百万円（前年同期は40百万円の営業損失）となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業㈱が営む川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ練習場は、SNSでの情報発信やキャッシュレス化の導入等により、来場者に対して利便性の高いサービスを提供するとともに、感染症対策に万全を期した営業を続けております。しかしながら、当四半期では新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きをみせ、行動制限が緩和されたことから、お客様のレジャーにおける選択の自由度が増し、練習場への来場者が減少したため減収減益となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は495百万円（前年同期比7.7%減）、営業利益は49百万円（前年同期比57.2%減）となりました。

④ その他の事業

神根サイボー㈱のインテリア施工事業は、一般住宅施工のほか大口物件の受注があり増収増益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は538百万円（前年同期比54.7%増）、営業利益は48百万円（前年同期比74.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,325百万円減少して41,569百万円となりました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産や商品及び製品が増加したものの、流動資産のその他に含まれる未収消費税等の還付や有形固定資産の減価償却が進んだこと等による減少であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,465百万円減少して23,946百万円となりました。これは主に短期借入金や長期借入金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ139百万円増加して17,623百万円となりました。これは主に配当金の支払やその他有価証券評価差額金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や繰延ヘッジ損益が増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ249百万円減少して2,177百万円となりました。

営業活動の結果、得られた資金は前第2四半期連結累計期間に比べ426百万円増加して1,432百万円となりました。これは主に売上債権や棚卸資産が増加し、また仕入債務が減少したものの、税金等調整前四半期純利益の増加や未払又は未収消費税等の増減額が消費税等の還付により増加したこと等によるものであります。

投資活動の結果、支出した資金は前第2四半期連結累計期間に比べ2,569百万円減少して176百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

財務活動の結果、支出した資金は1,506百万円(前第2四半期連結累計期間は得られた資金が2,498百万円)となりました。これは主に短期借入れによる収入や長期借入れによる収入が減少したこと、短期借入金の返済による支出が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月16日の決算短信で発表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,586,237	2,331,518
受取手形、売掛金及び契約資産	1,017,450	1,354,333
有価証券	—	10,880
商品及び製品	1,005,705	1,627,085
仕掛品	6,795	5,218
原材料及び貯蔵品	32,342	64,769
その他	1,489,568	139,994
貸倒引当金	△4,870	△2,043
流動資産合計	6,133,228	5,531,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,885,429	22,383,378
土地	7,822,588	7,822,588
その他（純額）	349,646	399,439
有形固定資産合計	31,057,664	30,605,407
無形固定資産	10,236	6,838
投資その他の資産		
投資有価証券	5,170,536	4,912,043
その他	577,287	563,002
貸倒引当金	△53,199	△49,068
投資その他の資産合計	5,694,624	5,425,977
固定資産合計	36,762,525	36,038,222
資産合計	42,895,753	41,569,980

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	662,189	675,134
短期借入金	880,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	1,101,740	1,084,940
未払法人税等	132,527	76,760
賞与引当金	49,182	51,056
役員賞与引当金	7,030	3,515
その他	1,004,725	1,004,328
流動負債合計	3,837,394	2,925,735
固定負債		
長期借入金	14,770,867	14,236,397
役員退職慰労引当金	253,889	259,226
退職給付に係る負債	166,715	173,464
長期預り保証金	5,579,948	5,582,527
資産除去債務	621,646	624,349
その他	180,994	144,393
固定負債合計	21,574,062	21,020,358
負債合計	25,411,456	23,946,094
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	825,348	825,348
利益剰余金	12,504,327	12,701,283
自己株式	△245,433	△243,574
株主資本合計	14,486,242	14,685,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	870,391	705,676
繰延ヘッジ損益	△23,187	49,641
退職給付に係る調整累計額	△8,978	△8,575
その他の包括利益累計額合計	838,225	746,741
新株予約権	5,143	4,517
非支配株主持分	2,154,685	2,187,569
純資産合計	17,484,296	17,623,886
負債純資産合計	42,895,753	41,569,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	4,465,968	5,177,170
売上原価	3,671,189	4,035,325
売上総利益	794,778	1,141,844
販売費及び一般管理費	600,170	630,121
営業利益	194,608	511,723
営業外収益		
受取利息	736	712
受取配当金	72,487	57,212
持分法による投資利益	-	13,848
その他	16,605	35,910
営業外収益合計	89,828	107,683
営業外費用		
支払利息	55,283	51,987
デリバティブ評価損	440	26,584
持分法による投資損失	11,024	-
その他	3,690	10,118
営業外費用合計	70,439	88,690
経常利益	213,997	530,716
特別利益		
投資有価証券売却益	6,745	-
新株予約権戻入益	720	899
特別利益合計	7,465	899
特別損失		
投資有価証券評価損	225	22,947
特別損失合計	225	22,947
税金等調整前四半期純利益	221,237	508,668
法人税、住民税及び事業税	77,351	74,590
法人税等調整額	△3,142	111,439
法人税等合計	74,208	186,030
四半期純利益	147,029	322,638
非支配株主に帰属する四半期純利益	49,519	34,158
親会社株主に帰属する四半期純利益	97,510	288,479

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	147,029	322,638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,490	△142,713
繰延ヘッジ損益	△39,070	72,828
持分法適用会社に対する持分相当額	15,892	△20,142
その他の包括利益合計	11,312	△90,026
四半期包括利益	158,341	232,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,855	196,995
非支配株主に係る四半期包括利益	51,486	35,615

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	221,237	508,668
減価償却費	612,446	659,186
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,451	△6,957
賞与引当金の増減額(△は減少)	519	1,873
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,175	△3,515
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△20,198	6,748
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,040	5,337
受取利息及び受取配当金	△73,223	△57,924
支払利息	55,283	51,987
持分法による投資損益(△は益)	11,024	△13,848
投資有価証券評価損益(△は益)	225	22,947
売上債権の増減額(△は増加)	29,548	△336,883
棚卸資産の増減額(△は増加)	△119,254	△652,230
仕入債務の増減額(△は減少)	342,766	12,945
未払又は未収消費税等の増減額	△397,331	1,374,820
その他	434,121	△20,864
小計	1,095,581	1,552,291
利息及び配当金の受取額	75,950	58,151
利息の支払額	△55,283	△51,987
法人税等の支払額	△109,445	△125,602
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,006,802	1,432,852
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,808,509	△194,337
固定資産の除却による支出	-	△3,690
投資有価証券の取得による支出	△30,600	△29,912
投資有価証券の売却による収入	68,696	43,662
定期預金の増減額(△は増加)	21,899	5,099
貸付金の回収による収入	2,550	3,900
その他	272	△814
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,745,690	△176,093
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,150,000	90,000
短期借入金の返済による支出	△240,000	△940,000
長期借入れによる収入	2,300,000	-
長期借入金の返済による支出	△605,634	△551,270
配当金の支払額	△91,522	△91,522
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
ストックオプションの行使による収入	-	1,732
その他	△11,263	△12,586
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,498,846	△1,506,379
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	759,958	△249,619
現金及び現金同等物の期首残高	1,620,990	2,426,675
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,380,948	2,177,056

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立したサイボークリエイト㈱を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更等)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響及び固定資産(大型商業施設)の耐用年数に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定及び固定資産(大型商業施設)の耐用年数を見積る際に利用した仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活 用事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	2,269,261	1,506,470	536,963	4,312,695	153,272	4,465,968	—	4,465,968
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,200	135,163	—	139,363	194,626	333,990	△333,990	—
計	2,273,461	1,641,634	536,963	4,452,059	347,898	4,799,958	△333,990	4,465,968
セグメント利益 又は損失(△)	101,396	△40,461	116,695	177,630	27,964	205,594	△10,986	194,608

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インテリア施工事業を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活 用事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	2,699,878	1,714,166	495,447	4,909,492	267,677	5,177,170	—	5,177,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,200	140,723	—	144,923	270,667	415,591	△415,591	—
計	2,704,078	1,854,889	495,447	5,054,415	538,345	5,592,761	△415,591	5,177,170
セグメント利益	40,530	385,988	49,930	476,449	48,898	525,347	△13,623	511,723

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インテリア施工事業を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。